表	題	部	(主である建物の表示)	調製	平成7年6月2	2日	不動産番号	0 0 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0						
所在図:	番号	余 白												
所	在	00市	高砂三丁目 15番地1				余 白							
		〇〇市(○○区高砂三丁目 15年	番地1				三4月1日行政区画変更 三4月27日登記						
家屋番	号	15番	1				余 白							
① 種	類		②構造	3	床面積	m [‡]	原因及	びその日付〔登記の日付〕						
居宅		木造瓦2階建	・亜鉛メッキ鋼板葺		1階 48 2階 23	8 5 1 8	昭和54年	三11月23日新築						
余(余 白	ASS	5	л I	以整		E法務省令第37号附則第2条 見定により移記 5月22日						

権利	部(甲区)(所有标	をに関する事	pport System
順位番号	登 記 の 目 的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権保存	昭和54年12月7日 第12345号	所有者 ○○市高砂三丁目15番1号 ○○ ○○ 順位1番の登記を移記
	余 白	余 白	昭和63年法務省令第37号附則第2条 第2項の規定により移記 平成7年6月22日

〇〇地方法務局管内新築建物課税標準価格認定基準表

(基準年度:令和〇年度)

(1平方メートル単価・単位:円)

構造種類	木造	れんが造・ コンクリートブロック造	軽量鉄骨造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造	鉄骨鉄筋 コンクリート造
居宅	93, 000		106, 000	108, 000	126, 000	-
共同住宅	92, 000		106, 000	108, 000	126, 000	_
旅館・料亭・ホテル	88, 000	ructure Ac	ljustment	130, 000	ystem	-
店舗·事務所· 百貨店·銀行	74, 000	_	72, 000	82, 000	153, 000	_
劇場·病院	81, 000	-	I	130, 000	_	_
工場·倉庫·市場	45, 000	-	37, 000	68, 000	96, 000	_
土 蔵	_		_	_	_	_
付属家	49, 000	ı	40, 000	74, 000	105, 000	-

[※] 本基準により難い場合は、類似する建物との均衡を考慮し個別具体的に認定することとする。

表 題	部 (=	上地の表示)		調製	平月	成7年	6月2	2 日	不動産番号	0 0 0 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1						
地図番号	余 白		筆界特	界特定 余 白												
所 在	<u>○○市高</u>	沙三丁目														
	〇〇市〇(○区高砂三丁目								三4月1日行政区画変更 三4月27日登記						
1 1	也番	②地 目		③ 地 積 ㎡					原因及びその日付〔登記の日付〕							
15番1		旦					88		15番から	o分筆 3年4月12日〕						
余 白	T	宅地	10	7	}	铅才	8 8	7 4		4年11月23日地目変更 4年12月5日〕						
余 白		余 白	余	白	社	会資	資才	文整		三法務省令第37号附則第2条 見定により移記 5月22日						

権利	部(甲区) 所有権	権に関する事 エ	頁)
順位番号	登 記 の 目 的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和43年12月24日 第54321号	原因 昭和43年12月24日売買 所有者 ○○市高砂三丁目15番1号 ○○ ○○ 順位2番の登記を移記
	余 白	余 白	昭和63年法務省令第37号附則第2条 第2項の規定により移記 平成7年6月22日



土地 (補充) 課税台帳登録証明書 (評価証明)

令和	\bigcirc	年度

○○○○○第12345678号

所在(町名·大字、丁目·字)	地番	登 記 地 目	課税地目	農地区分
高砂 3丁目	15-1	宅地	宅地	* * * * * * * * *
登 記 地 積	課税地積	納 税 義 務 者	登	記名義人
88.74 m²	88.74 m²	00 00	00 00	
価格	固定資産税課税標準額	都市計画税課税標準額	固定資産税額	都 市 計 画 税 額
¥2, 453, 052	******	********	******	**********
		沙文1上13月六		

社会資本整備支援機構

Infrastructure Adjustment Support System

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 ○年 ○月 ○日

○○市長



印

動車検査証 自

令和○年○月○日 ○○運輸支局長

自動車登録番号	号又は車両番号	登録年月日/交付年月	和	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別		車体の)形状		
▲▲ ●●● あ ●		平成 ○年○月○日 車名	平成○年○月	普 通 乗車定員	乗用	自家用 最大積載量	箱型	重量	車両約	[001]	
		平 1		木平疋貝		取八領戦基	中門	里里	平門心里里		
フツウジドウシャ			[999]			kg		1310 k g		1585 k g	
	車	体番号		長さ	幅	高さ	前前軸重	前後軸重	後前軸重	後後軸重	
AB100-6543				475cm	175cm	II.				590kg	
型	式	原動	機の型式	総排気量又は定格出力	- 1	燃料の種類	型式指	定番号	類別区	分番号	
UA-AB100		CDE		kw 1.98 L	ガソリン	Late Life Life		12345		0001	
所有権の氏名又は名称	国土交通 太郎			云真中蛮		て援機博					
所 有 者 の 住 所	○○県○○市○○区	ZOO3-2-1	cture Adii	istment Si	1000	rt System				[00000]	
使用者の氏名又は名称	* * *	HIHI MOEL C	ecure r raye	iotilicile o	PPO	it Oyutelli					
使用者の住所	* * *								[00	000 000]	
使用の本拠の位置	* * *										
有効期限の満了する日	令和 ○年○月○日		年 月 日								
備 考 [▲▲] 新規登録 自動車重量税額 ¥ 10年アイドル規制 以下余白	56, 700										

自 動車検査証

令和〇年〇月〇日 〇〇運輸支局長

自動車登録番号	号又は車両番号	登録年月日/交付年月日	初度登録年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状							
▲▲ ●●● あ ●	•••	平成 ○年○月○日 車名	平成○年○月	普 通 乗車定員	乗用	自家用 最大積載量	箱型 車両	重量	[001] 車両総重量					
フツウジドウシャ	ŧ	1体番号	[999]	5人 長さ	幅	kg 高さ	前前軸重	1310 k g 前後軸重	後前軸重	1585 k g 後後軸重				
AB100-6543 型		T \ (の型式	475cm 総排気量又は定格出力			刊 刊 刊 型	-kg		590kg				
UA-AB100		CDE	JU 社	kw 1.98 L	ガソリン	と援機構		12345		0001				
使用者の氏名又は名称 使用者の住所 使用の本拠の位置	〇〇県〇〇市〇〇	<u>X</u> ○○3 - 2 - 1	ture Adju	stment St	ippo	rt System			[00	0000 000]				
イ	「	会社	月 日											
				Г										

自動車検査証 番号 00001

令和○年○月○日 軽自動車検査協会

	車両	阿番号		交付年月日	初度検査年月	自動車種別	用途	自家用・	事業用の別		車体ℓ)形状	
ΔΔ Ο()() あ (0000	+ (.	平成○年○月○日	平成○年○月	軽自動車	乗用		家用箱型		.		and t
			車台	番号 ————————————————————————————————————		乗車定員	最大積載量	車両重量	車両総	重量	長さ	幅	鷹さ
A B C - 1	123456					4人	-kg			1100kg	339cm	147cm	169cm
	E	巨名		<u> </u>	型式	原動機の型式	燃料0)種類	総排気量又は定格出力	前軸重	後軸重	型式指定番号	類別区分番号
ケイジドワ	ウシャ			DBA-ABC		D E F	ガソリン		0.65 t	440kg	440kg	12345	6789
使田田	氏名又	スは名称	国土交通	太郎		邓文111117							
用 住所 ○○県○○市○○区○○3-2-1													
所	氏名又	スは名称	使用者に同	司じ		五具个证	三川)	(1)又1)	处什事				
有 者	信	上 所	使用者住所	所に同じ	ture Adju	stment Si	1ppoi	rt Sy:	stem				
使用の名	上拠の位置	使用者住	所に同じ		,		1 1						
有効期限0	D満了する目	<u>備考</u> 「<<)	新規登録	平成○年度燃費基進達成	車 平成○年度燃費基準2	20%向上達成車 平成○年	度 騒音規制	車 近接					
令和 ○年	〇月 〇日	廃棄騒音: 【〇年度	規制値96 d B 锐制】 平成(マフラー加速騒音規制道 〇年〇月〇日 新規検査	箇用車**	100 T	/χ θ <u>α</u> μ /9ΕΠ	1- 215					
年	月 日		検査時の免税 重量税額】免										
年	月 日												
年	月 日												
年	月 日												
年	月 日												

1. 建物等の所有者、借家人及び配偶者居住権を有する者の場合

就業不能補償日数表の内訳表

11.72.13.13	77113 6 (16	事	5仕権を有する者の 事 項		移転	先 選	定			動産	整理			移住		法令	上の手	続き	移転工事等							
				利車		仮 住	が止	+	現	仮	新		仮	新		土及地び・建	住居		業者四	監	地	上	引	そ		合 計
				車を	Ē.	居			住	住	住	計	住	住	計	建築物確	変更	計	選定		鎮	棟	渡	Ø	計	
種別	J			自己選定	業者 自己 選定 選定	業者選定	自己選定	業者 選定	居	居	居		居	居		登認記等	届		契約	督	祭	式	し	他		自己 業者 選定 選定
		構外移転	仮住居 無	15	3 -	-	15	3	2.5	_	1.5	4	_	1	1	1	1	2	1.5	5. 5	0.5	1	0.5	1	10	32 20
	再築	1冊/下1夕年4	仮住居 有	15	3 5	5 -	20	3	2.5	2	1.5	6	1	1	2	1	1	2	1.5	5. 5	0.5	1	0.5	1	10	40 23
自用家	11 **	構内移転	仮住居 無	-			-	_	2.5	-	1.5	4	_	1	1	1	-	1	1.5	5. 5	0.5	1	0.5	1	10	16 -
D /11 %		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	仮住居 有	-	- {	5 2	5	2	2.5	2	1.5	6	1	1	2	1	1	2	1.5	5. 5	0.5	1	0.5	1	10	25 22
	曳 家		所 有 地	-	- 5	5 2	5	2	1	1	0.5	2.5	1	1	2	0.5	0.5	1	1.5	1.5	0.5	-	0.5	0.5	4.5	15 12
	~ ~		所 有 地	5	3 5	5 -	10	3	1	1	0.5	2.5	1	1	2	0.5	0.5	1	1.5	1.5	0.5	_	0.5	0.5		20 13
	再築		移転	10	3 -	1	10	3	_	份违	- J.E.		13-		_	1	-	1	1.5	5	0.5	1	0.5	0.5	9	20 13
貸 家	1,7 %	構内				, (-	_	-	IJX	1°L	1,4	114	$A \neq$	<u> </u>	1	-	1	1.5	5	0.5	1	0.5	0.5		10 -
~ ~	曳 家		所有地	7 /		-	1	_	_	_	_	_	_	_	-	0.5	_	0.5	1.5	1.5	0.5	-	0.5	0.5	4.5	5 -
	24 74	他人	所有地	5	3 -	J.	5	3	Z	/ \	44	7	* 宋	Z/ i	# =	0.5	*	0.5	1.5	1.5	0.5	_	0.5	0.5	4.5	10 8
		構外移転	仮住居 無	-	-		_	_	2.5	4	1.5	4	. 11	- H	1	~-	1	1		-	-	-	-	1	1	7
借家人	継続		仮住居 有	et-	- 5			2	2. 5	2		6	\mathbb{C}^1	1	2		$\bigcirc 1$	1		_	_	_	-	1	1	15 12
		構大		06		2		2	2.5	2	1.5	- 6	\bigcirc_1	- 1	2	TF	O_1	01		1 -	_	_	-	1	1	15 12
		継 続 困		10	3 -		10	3	2	_	1.5	3. 5	_	1	1	-	0.5	0.5	-	-	_	_	-	_	_	15 8
	再 築	構外		10	3 -	_	10	3	0.5		0.5	1	-	-		1	-	1	1	1	0.5		0.5		3	15 8
附属家		構大		-		_	-	-	0.5	-	0.5	1	-	-		1	-	1	1	1	0.5		0.5		3	5 -
	曳 家		所有地	-			-	_	1	_	0.5	1.5	_	_		0.5	-	0.5	1	1	0. 5		0.5	_	3	5 -
			所有地	5	3 -		5	3	1	_	0.5	1.5		-		0.5	-	0.5	1	1	0.5		0.5		3	10 8
工作	乍 物	構外		3	3 -		3	3	-	_	_	_	-	-		-	-	-	1	1	-		_	_	2	5 5
		構大		_			_	_	_	_	_	_	_	-	_	-	-	_	1	1	-	_	_	_	2	2 -
墓	地	構外		15	3 -		15	3	-	_	_	_	-	-		-	-	-	1	1	0. 5		0.5	2	5	20 8
		構大	-	_			_	_	_	-	_	_	_	-		-	-	_	1	1	0.5		0.5	2	5	5 -
建設	予定地	構外	12 12.	10	3 -		10	3	-	_	-	_	_	-		1	-	1	-	-	-	_	-		-	11 4
	•	構内	7 移 転	-		- -	-	_	-	-	-	_	-	_	-	1	_	1	-	-	-	-	_	-	_	1 -

^{※「}自用家・再築・構外移転・仮住居有」及び「自用家・曳家・他人所有地」の宅地建物取引業者に委託して仮住居先を選定する場合の補償日数(2日)分は、移転先選定に係る補償日数として掲げる日に含むものとする。

^{※「}自用家・再築・構内移転・仮住居無」において「住居変更届」が必要な場合は、適宜加算することができるものとする。

[就業不能日数表] の注記

- 注 ① 就業できないことにより通常生ずる損失の補償をする場合とは、用対連基準第37条第2項及び同基準細則第21-5、21-6に基づき行うものである。
 - ② 種別欄の2以上の項目に該当する場合は、いずれか大なる日数によるものとする。ただし、農地、資材置場等又は墓地とその他の項目に該当する場合は、その他の項目の日数に農地、資材置場等又は墓地の日数を加えることができるものとする。 なお、資材置場等、墓地に通常存すると想定され得る工作物及び立竹木については、すでに考慮した上での補償日数である。
 - ③ 上記②ただし書きに従い日数を加える場合においては、就業不能補償日数内訳表を参考に、各事項を別々に行うことが合理的と認められる時に限り、加えることができるものとする。
 - ④ 工場、倉庫、店舗、事務所等については、この表に準じて算定するものとする。
 - ⑤ 区分所有建物については、自用家再築に準ずるものとする。
 - ⑥ 立竹木は、工作物に準じて取り扱うことができるものとする。
 - ⑦ この表に掲載されている日数は、最大日数であるため、<u>就業不能日数の認定にあたっては、就業不能補償日数内訳表又は®の内訳により</u> その必要性の有無を検討の上適宜認定するものとする。
 - ⑧ 土地のみの場合は、その他通常生ずる損失の補償として3日(内訳:調書の確認0.5日、価格の提示0.5日、用地協議1日(0.5*2)、印鑑証明書の受領0.5日、契約の締結0.5日)を上限とし、その必要性の有無を検討の上適宜認定する。 また、土地に立竹木又は工作物がある場合は、5日を上限とする。
 - ⑨ 共有又は相続により、契約の相手が複数となる場合については、次のとおりとする。イ 同居の親子、配偶者及び兄弟については1件とする。ロ イ以外の相手方については、必要となる日数を就業不能補償日数内訳表又は®の内訳により適宜認定するものとする。
 - ⑩ 官公署が相手方である場合は、補償しない。
 - ① 個人又は法人の棚卸し資産であるものについては、補償しない。
 - ⑩ 区画整理事業の場合については、実態に応じて「移転先選定」及び「法令上の手続」の日数を控除するなど、適宜補正するものとする。
 - (13) 配偶者居住権を有する者は、借家人継続に準ずるものとする。